

頭の大きさ錯視

森川和則

大阪大学 人間科学研究科

E-mail: morikawa@hus.osaka-u.ac.jp

ここでは「頭の大きさ」とは下図の赤い矢印の幅を意味します（帽子サイズと言い換えてもいいです）

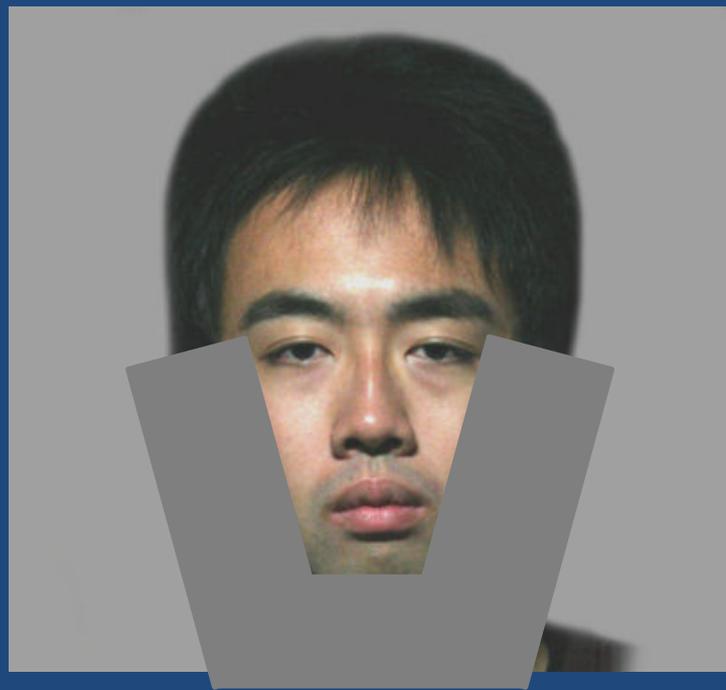
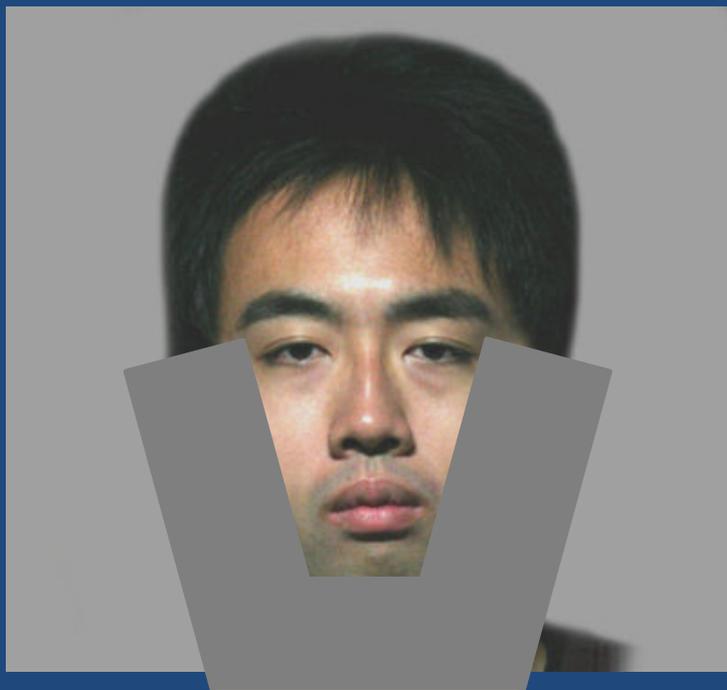


こちらの頭のほうが
幅が広く見えます



こちらの頭のほうが
幅が狭く見えます





でも、実は頬と顎の輪郭以外は全く同じ顔です

他の人種や性別の顔でも生じます





こちらの頭のほうが
幅が狭く見えます



こちらの頭のほうが
幅が広く見えます



でも、頬と顎の輪郭以外は全く同一です

他の人種や性別の顔でも生じます

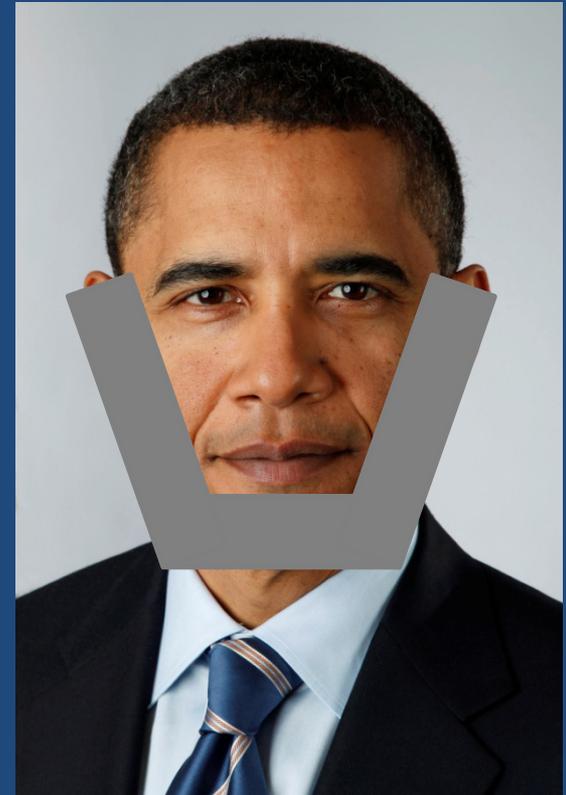
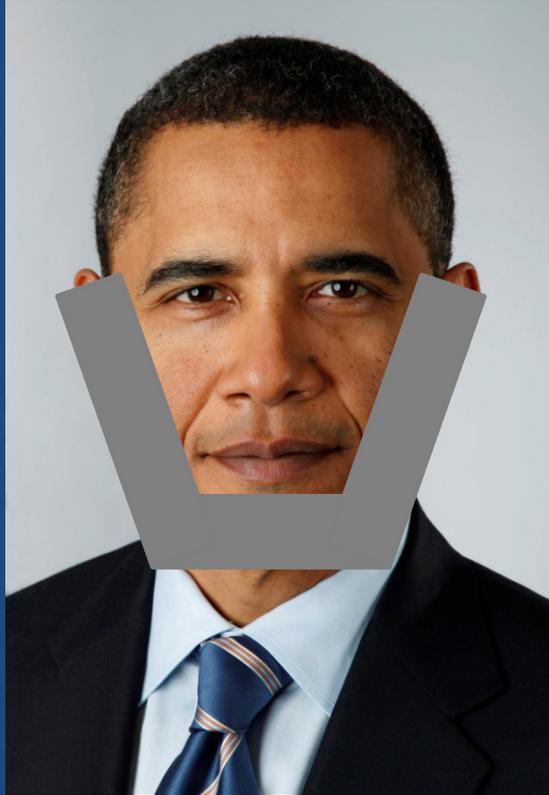




こちらの頭のほうが
幅が広く見えます



こちらの頭のほうが
幅が狭く見えます



でも、頬と顎の輪郭以外は全く同一です

他の人種や性別の顔でも生じます





こちらの頭のほうが
幅が広く見えます

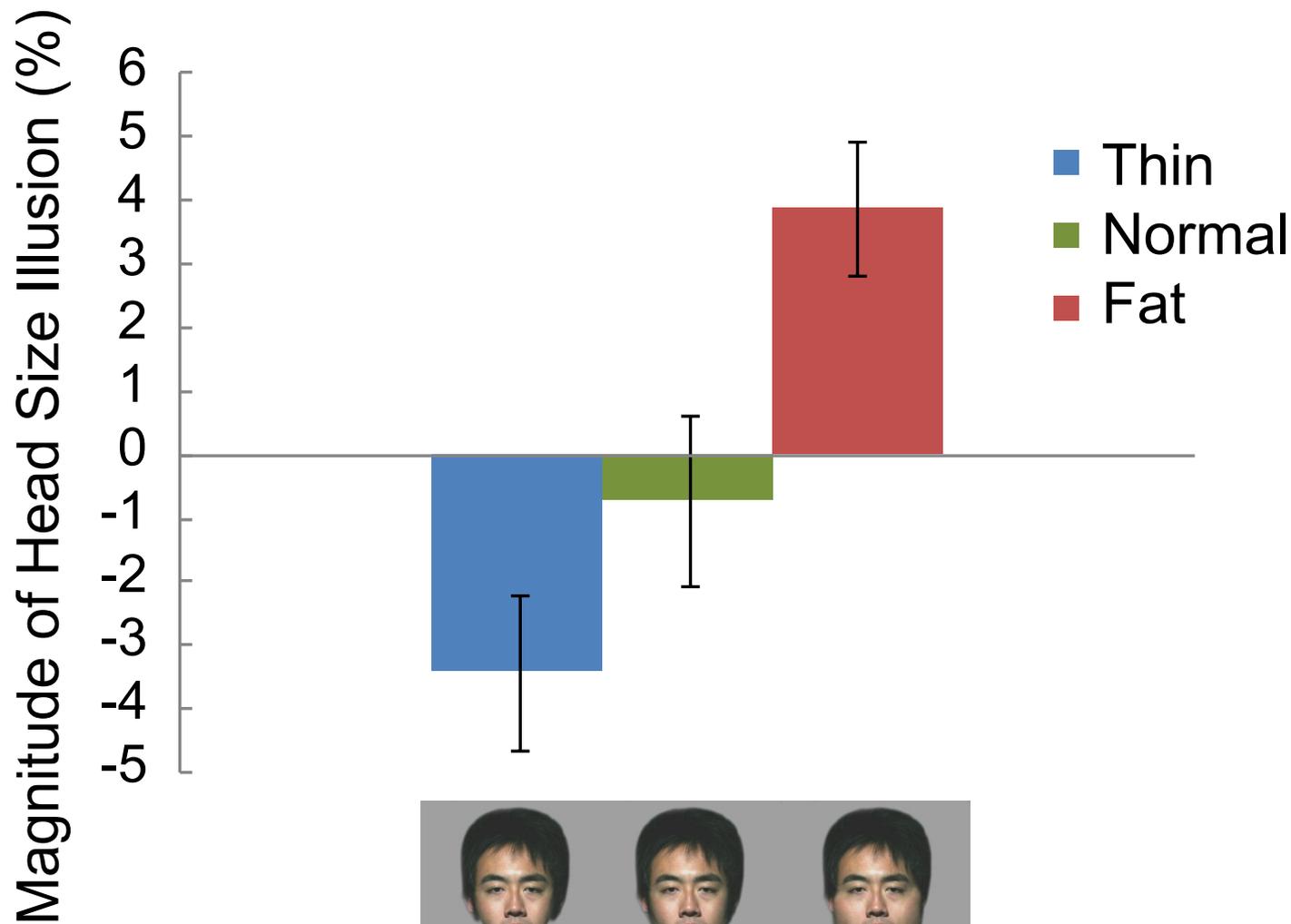


こちらの頭のほうが
幅が狭く見えます



でも、頬と顎の輪郭以外は全く同一です

心理物理学的測定の結果は錯視を実証しました



解説

この錯視は、顔のみならず頭の輪郭も全体的に知覚処理されていることを示唆しています。ある人の体の一部が太っている(あるいは痩せている)ならば、他の部分も太っている(あるいは痩せている)確率が高いという、生物学的な相関を視覚システムが考慮に入れて頭の形を知覚しているのかもしれませんが。この種の錯視は化粧にも活用できます。

ちなみに

Thompsonの Fat Face Thin 錯視とは全く異なります



The Fat Face Thin Illusion (Thompson, 2010)
同じ顔でも倒立すると痩せて見えるという錯視

FFT 錯視は倒立の顔にのみ生じます。
頭の大さき錯視は正立の顔にのみ生じます。

そうなん？ (by 北岡)

